（別紙4）　平成　30　年度

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	2993300025		
法人名	有限会社　煌めき　白ゆりの郷		
事業所名	グループホーム　煌めき		
所在地	奈良県北葛城郡広陵町南郷417-1		
自己評価作成日	平成30年5月30日	評価結果市町村受理日	平成30年8月9日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302－1　奈良県市町村会館内
訪問調査日	平成30年7月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

開所して3年5カ月が過ぎ、1ユニットで現在は女性の方ばかり9名入所されています。家庭の延長の場としてお一人お一人に合ったケアをと常に心がけております。また運営推進会議では、毎回地域の方からの助言、ご意見を頂き、実りのある推進会議をさせて頂いております。毎月何かイベントを開催させて頂き、ボランティアの方にもご協力して頂きとても好評です。何かご利用者様にあった場合は、ご家族様に密にご連絡させて頂いております。ご家族様からも安心して頂いているように思います。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

事業所は役場に近く、周辺はのどかな田園風景と葛城山や二上山が眺められる静かな場所に立地しています。現在、1ユニットの運営で、職員は経験を活かしながら利用者にしっかり寄り添ったケアサービスを遂行されています。また、グループホーム開設前には当地にて認知症デイサービスを運営されていたことから地域との繋がりが出来ており、納涼祭等の自治会行事にも参加するなど、地域住民との交流も積極的に行っておられます。また、利用者には季節感を感じてもらうため、旬の食材を多く取り入れたり、フロアの装飾も五感を刺激する工夫をしながら、利用者が笑顔で楽しく暮らせる家庭的な雰囲気づくりに努めておられます。

Ｖ．サービスの成果に関する項目（アウトカム項目）　※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

	項　目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる（参考項目：23,24,25）	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある（参考項目：18,38）	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている（参考項目：38）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている（参考項目：36,37）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている（参考項目：49）		1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている（参考項目：30,31）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている（参考項目：28）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

	項　目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている（参考項目：9,10,19）	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている（参考項目：2,20）		1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度
		○	3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている（参考項目：4）	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている（参考項目：11,12）	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどできていない

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	（1）	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	目が届く位置に掲示し、常に意識を持って支援できるようにしています。	フロアに掲示されている理念を職員は常に確認・共有しながら、利用者に日々笑顔で生活していただけるよう理念の実践に努めておられます。	
2	（2）	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	推進会議で情報を得て、できる範囲で地域のイベントに参加して行きたいと思っています。	日常的な散歩では地域の方と挨拶を交わし自治会のイベント行事にも積極的に参加されています。また、事業所の「七夕会」には近隣の保育園からの訪問もあります。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	推進会議を通じ、地域の方のご意見に耳を傾け、お役に立てれるよう説明させて頂いています。そして認知症に対してのご理解を頂きたく、時々入所者様の日常生活のご様子をお話しさせて頂いてます。		
4	（3）	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の出席率がすばらしく良く、とても意義のある会議と満足しています。職員間情報の共有をしサービス向上に活かしています。座談会形式で行っており、気軽に意見を述べて頂けるようにしています。	会議は座談会形式で気軽に意見が言える雰囲気になっており、出された意見・要望等は検討を加えながらケアサービスの向上に繋げておられます。	
5	（4）	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	連絡は密にとっており、事あるごとに相談させて頂いています。	役場の担当者とは折に触れ報告・連絡等の情報交換を行い、協力関係が構築されています。	
6	（5）	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしない取り組みをしていますが問題が発生した場合、その都度話し合い工夫しています。ご家族様とも相談させて頂き、命に伴う場合はセンサーマット取り付けもさせて頂いています。	利用者の安全を守り自由な暮らしを支援するため、勉強会や家族等との話し合いを通して常に工夫を重ねながら身体拘束をしないケアの実践に取り組まれています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	虐待防止の勉強会を実施し、一人で抱え込まないよう情報交換している。職員間でも密に連携しています。		

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	資料にて勉強会を開催しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、十分に説明させて頂いています。質疑応答も自由にして頂いた上でご捺印して頂いています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来所時およびご自宅訪問時のご要望ご意見等は職員間で情報の共有をし、運営に反映させています。	運営推進会議の他、面会時や年1回の家族会では何でも言ってもらえる雰囲気づくりに努めておられます。意見・要望等があればスタッフ会議で話し合い、運営に反映されています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月１回会議を開き、自由に意見を発表できる機会を設けています。	日常的に話しやすい職場環境で、管理者はスタッフ会議での意見・提案の他、職員の声をしっかり捉えて運営に活かしておられます。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	各職員の要望を把握し、常に耳を傾けている。シフト面などできるだけ希望に添うよう努力しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内外の研修を受ける機会はできており、職員一人一人の状況も把握しています。施設内の勉強会は担当を決め月に1回おこなっています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との長い交流があり、お互いに情報交換しています。		

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	信頼関係が第一といつも考えているので、こまめに声掛けしたり話題の内容を工夫したりして体に触れスキンシップをはかっています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約時、しっかり話し合い雑談も交えて困っておられることや要望をお聞きし、交流をはかっています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ケアマネージャーの基本は「本人、家族にとって今一番何に困っているか」「どういうサービスが必要か」だと思っているので、ニーズの把握に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	暮らしを共にする者同士までは行かずも、家族としての意識は全員が持っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との連携は密に行っており、家族からは施設での様子がよく解っており有難いとのご意見もある。その他担当者を決め月１回ご様子表を作成しご送付させて頂いています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人や以前支えて頂いた関係者の方等には、自由にご来所して頂き、大きな変化がある場合はご報告させて頂いています。	以前から繋がりのある人は自由に来所されて自宅と同じような雰囲気で時間を過ごしておられます。また、自治会行事には継続的に参加されています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者さんの性格や好みなどは、職員間で把握し、不穏にならないよう席替えを行ったり、気軽に話し合える環境作りをしています。		

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても、本人、家族の様子を時々伺い、場合によっては相談や支援に努めたいと思っています。		
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	認知症の場合、なかなか本人の思いや意向の確認ができないが、会話の中で伝わってくるものがあり、本人本位で支援しています。	日々の関わりの中での声掛けや、言葉・表情・しぐさから思いを推し測ったり、意向の把握に努めておられます。把握が困難な方についてはスタッフ会議で意見交換し、検討されています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	少しでも多くの情報を得るため、日々家族、知人等関係者様が来所の際、生活歴や好み等、会話の中で収集しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々、職員間で情報伝達し把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	個別計画や介護計画を作成し、モニタリングの時は、いろんな意見を出し合って反映に努めています。	利用者ごとに担当者を決めて課題の把握に努め、家族の意見も聞きながら6ヶ月ごとに介護計画を作成されています。また、3ヶ月ごとにカンファレンスが行われています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々職員間で情報の共有をし実践に活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	認知症の方にとって、環境に変化が命取りと言っても過言ではない位。慣れた生活で規則正しい生活が最も適していると考えているので、体調に合わせて支援しています。		

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	昨年とは少しSDLの低下が目立ち、地域のイベント参加に限りがありますが、可能な限り納涼祭りや花火大会、RUN伴等に出かけています。		
30	（11）	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所の際、説明させていただき、納得の上、往診での受診をして頂いています。家族の負担が軽くなると喜ばれています。	かかりつけ医を希望される場合は家族が同行し、適切な医療を受けられるように支援されています。また、月2回の協力医の往診や歯科の訪問診療もあります。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	施設内の看護師を中心に、情報や気づきの伝達を常に行っており、往診時に反映している。月に2回の往診で病気の早期発見と治療に努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	提携病院はあり、基本的には入退院時は病院に出向きカンファレンスを開催して頂き、退院後の日常生活全般に注意事項など聞かせてもらい早期退院に努めています。		
33	（12）	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時、軽く終末期のご意向を確認した上で、書面にご署名、ご捺印して頂いています。本人、急変時、もう一度ご家族の意向の確認をさせてき主治医と連携を取りながら支援させて頂いています。	開設されて3年余りで、これまでに2回看取りをされています。終末期にあたっては利用者や家族の意向を踏まえ、医療機関・職員が連携を取りながら、最善を尽くすように努めておられます。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的な訓練は行ってはいないが、マニュアルを作成し事故発生時に備えて行動の確認を随時行っています。		
35	（13）	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアルを作成し、毎年2回防災訓練を実施しています。今後、同敷地内の他事業所に働きかけ、地域との協力体制を築いていく方針。	マニュアルを作成し、年2回の避難訓練を自治会長の参加のもとに実施されています。	災害時の避難方法を身につけるため、消防署との連携を図るとともに、昨今の状況から、水害対策についての取り組みも期待します。

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	認知症になられても、分け隔てなく人格を尊重し言葉かけさせて頂いています。特別扱いしないように気を付けて対応しています。	一人ひとりの人格を尊重し、声掛けやトイレ誘導でも、プライバシーに配慮しながらケアサービスに取り組んでおられます。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活においてなるべく、本人の意思の確認を行い、意思決定が困難な場合は、何かサインはないか？また体調を見て支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人のペースを大切にし、無理強いしないようにしているも、集団行動が多くほとんどリビングで過ごされています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎朝の衣類のコーディネートなど支援させて頂き、季節の変わり目など衣替えは家族様に連絡し持ってきて頂いています。トイレの後など衣類の乱れている時は、声掛けにて身だしなみを整えています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の様子をチェックし、何が好きで何をよく残されているか把握し、時々「食べたいものありますか？」など尋ねています。準備や後片付けなど可能な方には手伝って頂いています。	利用者の好みの献立を取り入れたり、出来るだけ旬の食材を使うなど、食の関心を引き出す工夫をされています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量は日々チェックして、促しています。栄養バランス等はご弁当屋さんの関わりがあり、メニュー表を見て検討、不足分は購入して補っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後には歯磨き、入れ歯洗浄を行っています。月に2回訪問歯科に定期健診を受けて頂き、口腔管理してもらい指導を受けています。		

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排尿排便の量や時間の記録をし、声掛けやトイレ誘導しています。	利用者の排泄パターンを把握し、声掛けや誘導を行いながら、自立に向けた支援をされています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表を確認し、便の出にくい人には食事や水分等で調整をし、状況に応じ医師からの処方にて服薬等をしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	個々に添った入浴法や入浴時間で入って頂いています。ただ現実は職員体制の都合上、曜日や時間帯を施設側で決めさせて頂いています。月曜～金曜日、週に2回とさせて頂き。その他必要に応じ対応させて頂いています。	週2回の入浴を基本に、個々の状態や希望に合うような入浴支援をされています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	気温や湿度に気を配り安心して気持ちよく休んで頂けるよう支援しています。季節の変わり目などは寝具を調整し、どうしても寝付けない場合はリビングで過ごして頂くこともあります。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師の指示のもと、施設看護師が管理し体調を見ながら服薬して頂いています。急変時はすぐ医師に相談し中止することがある。毎月薬の仕分けは薬局でして頂き、こちらでも再度確認しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	以前で来ていたことができなくなり、意欲が低下はみられますが、一人ひとりの得意な事を把握し無理なのないように進み、散歩などで気分転換したり庭で日向ぼっこなど試みています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	以前はよくスーパーへ買い物に出かけてましたが、現在は歩行困難の方や行くことにより夜間等混乱が起こる方などもおられ頻度も少なってきていますが、近くの神社等への散歩を定期的に行っています。	外出可能な方には近隣の散歩や買い物･ドライブなど、五感刺激の機会をつくりながら、戸外に出る支援を積極的に行っておられます。	

自己	外部	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	当施設では、金銭管理は家族に行って頂き、毎月お小遣いとして薬代や消耗品代を差し引かさせて頂いています。買い物時の支払いではお金を持って頂いたこともありましたが、現在は職員が行っています。一人ひとりの症状に合わせて検討したい。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙のやり取りは現在はありません。今後、お手紙が届きご希望があれば支援させて頂きます。電話の場合はいつでも対応させて頂きます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居心地のいい環境づくりは常に行っています。ただ座席替え一つでも不穏になられたり、混乱が起こる場合がある為、慎重に行っています。壁掛けや装飾品などは季節感を味わって頂けるよう工夫しています。	事業所内は明るく、木の温もりを感じると共に、温度・湿度も調節された居心地の良い共用空間となっています。また、フロアの壁掛けや装飾品などには、季節感をもたらす工夫もみられます。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	会話が弾んでいる利用者様同士の席を近づけたり、共通の趣味がある場合はど一人ひとりの表情を絶えずにかけ、職員間で工夫しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内はご家族と相談し、本人が大切にされていた物や愛用の物など依頼しています。	居室にはベッドとエアコンが備え付けられ、テレビなど利用者ごとに馴染みの物が置かれて、自宅と変わらない生活空間になるよう配慮されています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共同生活の場として動線を確保し、安全に移動して頂けるよう工夫しています。掃除などは毎日ではないが掃き掃除、テーブル拭き、モップ掛け、洗濯干し、たたむ、食器拭き等を手伝って頂いております。		